

## 雇用保険二事業に関する懇談会議事要旨

日 時：平成 30 年 6 月 19 日（火）13：00～15：00

場 所：職業安定局第 1・2 会議室（中央合同庁舎 5 号館）

出席者：正木義久氏（日本経済団体連合会）、中澤善美氏（全国中小企業団体中央会）、佐久間一浩氏（全国中小企業団体中央会）、坂田甲一氏（トッパン・フォームズ株式会社）、小林治彦氏（日本商工会議所）

議 題：雇用保険二事業に係る平成 29 年度評価及び平成 30 年度目標設定について

議事内容：①事務局より、資料に基づき説明。

②その後、出席者より主に以下のような発言があった。

### 【主な発言】

- 事業の内容がわかるような事業の名称設定を行うとともに、事業の実施主体、どのような周知・PR を行ったのか、その結果がどうか、ということがわかるようにしていただきたい。
- 目標設定のあり方として、事業のあるべき姿があり、それに照らした目標を設定することが必要ではないか。また評価に当たっては、あるべき姿に対応した目標について、達成度合いを評価していくことが必要なのではないか。
- 安定資金残高について、将来の景気変動時への備えとして、一定額の残高維持の必要性は理解できるものの、現在のような高い水準が続く状況を踏まえれば、雇用保険二事業の保険料率の下限を引き下げべき。
- 景気不安というものも懸念されており、それを踏まえた事業・予算の設定をお願いしたい。
- 環境整備型に分類される事業の必要性については厳しい精査をお願いしたい。
- 就職困難者の就職支援も重要だが、人手不足の対策や IT 人材の確保など、足下での企業のニーズも考慮し、二事業を実施していただきたい。